



ふちゅうこくさいこうりゅう ふちゅう す  
府中国際交流サロンは、府中に住む  
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ  
日本人と外国人が、仲良く助け合っ  
たの せいかつ ねが かつどう  
楽しく生活していくことを願って、活動を  
つづ 続けています。

# くろするる〜ど

## 会報誌

2016/11月号



### 〜サロン月間カレンダー11月〜

### 柏崎先生の特別講座(第76回勉強会)

#### ■サロンでお茶会

11月4日(金) 午前10時~12時  
消しゴムはんこ教室 (費用200円)

11月11日(金) 午前10時30分~12時  
絵手紙教室 (費用100~200円)

11月18日(金) 午前10時30分~12時  
生け花教室 (花代500円) 要予約

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申込みはサロン事務局まで。

#### ■ボランティア勉強会

「これがあると便利 ボランティア七つ道具」  
〜写真集、チラシ等々〜

—— 学習者の日本語理解への近道 ——

日時：11月16日(水) 午前10時~12時

場所：サロン3階第1会議室

#### ■サロンの集い2016

日時：11月26日(土) 午後5時30分~8時

(受付開始 午後4時30分)

場所：ルミエール府中 コンベンションホール飛鳥

(詳細は7頁の「みんなの広場」をご覧ください。)

#### —助詞の「は」と「が」を考える—

けんしゅうぶかい かよう ゆみ こ  
研修部会 萱生由美子

10月8日は46名が参加しました。今回は日本語教育の難関といわれる助詞の「は」と「が」についてです。まずは、日本語を母語とする私達が無意識に使い分けしているこの二つの助詞を分析し、認識することが第一歩です。柏崎先生のお話しのポイントは次の通りです。

#### 「は」と「が」の原則(詳細は資料参照)

1. 「は」は「は」〜はとテーマを挙げ、それが「どのようだ」と解説する——判断文

「が」は存在・現象をありのままに述べる——現象文

2. 「は」は文中の要素を取り立ててトピックとする。

・母は私が国を出る時立きました。

「が」は従属節の中だけの主格を表す。

→小さい主語

・田中さんが行けば、私も行きます。

3. 対比の「は」、排他の「が」

4. 既知・旧情報の「は」

未知・新情報の「が」

5. 疑問詞との関係

1) 述部(後)に疑問詞が来る時: 「は」

・あなたの帽子はどれですか。

2) 疑問詞が主格(前)の時: 「が」

・いつがいいですか。・何がありますか。



さて、難しいのは「は」と「が」が両方使える場合です。

・この小説は(が)おもしろいと思います。両方使えますが、「は」と「が」ではニュアンスが異なることをきちんと理解しておく必要があります。

終了後のアンケート調査(回収31)の結果は、難しいテーマだが分かりやすい講義で大体理解出来た(21)でした。しかしそのほとんどの人が、現実学習者にはこの違いをどんなふうに教えたらいいのかわからない、と答えています。「は」と「が」の指導法については、「は」と「が」のパートⅡとして1月の勉強会で、再び柏崎先生に取り上げて頂く予定です。お楽しみに。(ハンドアウトをご持参下さい。)

## 「着実に進む2年目の防災訓練」

月曜午前ボランティア 桑島宗利

9月、児童学習支援クラスで防災訓練(発災時対応訓練)を行いました。クラスを運営している外大生の報告を東京外国語大学ボランティア活動スペースのホームページより転載します。

【活動レポート】9/16府中国際交流サロン児童学習支援において、市民ボランティアと協働で避難訓練を実施しました。(東京外国語大学国際社会学部1年 澤口明里 渡辺有実)

先日、府中国際交流サロン児童学習支援において、市民ボランティアさんと本学の学生との協働で避難訓練が行われました。

クイズを中心に絵を用いて、子どもたちにもわかりやすいように災害発生時における基本的な行動、注意事項について説明していただきました。そうした知識はもちろん、市民ボランティアの方の質問に積極的に手を挙げて発言する子どもたちの、基本的な一対一で行う普段の活動では見ることができない姿が垣間見ることができたことも嬉しい収穫でした。

その後、大学生ボランティアは、災害が発生した場合の避難ルートを実際に通って近くの小学校まで行きました。その際、大事なことをいくつか学びました。まず、避難の際子どもの手をつなぐことです。

こうすることで、大学生が子どもとはぐれにくくなりますし、地震で不安を感じた子どもがパニックになることも防ぐことができます。また、避難する途中で、上からの落下物だけでなく、切れた電線やブロック塀など気を付けるべき点がいくつもあることもわかりました。

また、普段お話しする機会の少ない市民ボランティアの方と接する中で、ボランティアは自分たちだけでできる活動ではないということも実感しました。今回のような避難訓練も市民ボランティアの方の協力なしでは実現が難しかったと思います。個人的には、こうした企画の時以外にも市民ボランティアの方と話す機会を設けることができれば、自分たちの活動を学生とは違う目線で考え、見直すことができるのではないかと感じました。

実際に地震等の災害が起こったときには、私たち自身が落ち着いて行動するのはもちろん、子どもたち1人1人に気を配り、安全に避難誘導ができるように、学んだことをしっかりと心に留めておきたいと思います。

[http://www.tufts.ac.jp/blog/ts/g/cemmer\\_volas/activi-ty/916.html](http://www.tufts.ac.jp/blog/ts/g/cemmer_volas/activi-ty/916.html)

東京外国語大学の普段のボランティア活動も上記のホームページに紹介されていますので、ぜひご覧ください。



## 【今回の防災訓練を踏まえての提案】

今後の課題として、災害を想定し児童学習支援クラスに緊急物資(非常食クラッカーや水)の備蓄が必要だと思います。保護者たちが市内全域から引き取りに駆け付けるまでの間、子供たちの安全を確保するにはまず備蓄物資の確保が欠かせません。物資の管理・定期的な入れ替えはぜひ、クラスの運営主体である市に取り組んでいただきたいと考えます。この点も含め、市民活動支援課と外大側の話し合いにはぜひサロン側も協力して行きたいと感じました。

# 世界の文化

## 「ドミニカ滞在記」

月・水・金曜ボランティア 辻村俊雄

航空会社のシステムダウンで十数時間遅れ、連絡も出来ずに早朝に到着。空港ロビーに出ると留学生レティシャ（以下レティ）とお父さんが笑顔で手を振っていた。

ドミニカ共和国はカリブ海のイスパニョーラ島にあり人口は1000万人、亜熱帯の8月は雨季で最も旅行に不向きとの事。直前の天気予報では一週間全て雷雨、でも実際は夕立のような雨が何回かあっただけでずっと好い天気、日本の夏と変わらない。隣国のハイチと比べ政治が安定し経済が発展している。

レティの家がある首都サントドミンゴは人口が200万人、アメリカ大陸で初めて欧州人が定住し、初の大学・要塞等が建設された都市で、世界遺産の旧市街やコロンプスの墓がある。

一方、大型ショッピングモールやブランドショップがあり、スーパーもたくさんある。生活はアメリカ的で、道路は広いが所々に穴がある。短いけれど地下鉄も走っている、タクシーはメーターが無く個人での活動にはスペイン語が必須である。



サントドミンゴ市街

レティが考えてくれたプランに従い、夏休中のお母さんの運転で観光や海水浴、買い物へ、JICAの日本語学校にも参加し、あつと言う間に10日間が過ぎ最後のディナー、海辺のドミニカ料理の店で楽しい時間が終わった。

カリブの海は驚くほど透明だったが、島国でも魚が採れず鮮魚は売っていない。外務省のHPを見て治安、デング熱、ジカ熱などを心配したが蚊を見る事もなく、行ってみないと解らないものだ。



サマナ海岸

ドミニカでは昼食がメインでシエスタの習慣もあり、朝は夜は軽い食事を摂る。米は日本米もあり、パンも種類が豊富でキャッサバのパンや料理用バナナ、ユカ芋、コーン等色々な主食？がある。スーパーで買った鯨の燻製で炊込みご飯も作ってくれた。海外に行くとき必ず日本食を食べていた私も今回は大丈夫。果物が豊富で庭にアボカドの木があり大きな実がなっている。スペイン風の家屋はオープンエアな造りで部屋も広く天井には大きなファン、停電や水のシャワーにも直ぐに慣れた。

スペイン語だけを話す家族と会話こそ不自由だったが、何時でも来てこの部屋を使って欲しいと・・・。

日本語、英語を話す人が居ない環境での生活経験でサロンに来る留学生の気持ちが良く解った。仕事や旅行で海外に行った事はあるが、今回の経験で普通の観光旅行には行く気がしなくなった。



オサマ要塞にて

## 「静かで美しい国 ベラルーシ」

マルガリータ オオギ(ベラルーシ)

ヨーロッパの小さな国の一つから日本に来て、私は、時間空間の概念にとってもこだわり、日本での生活の速さに驚いています。おかしい、私はベラルーシと日本の間にいくつかの類似点に気づくだけでなく、違いは私を驚かせます。

例えば、ベラルーシは、放射線災害の悲惨な経験を持っている、その領土は1986年にチェルノブイリ事故によって汚染されていました。

ベラルーシの人はとても親切ですが、一見冷たくて親しみが無いと思われれます。

ベラルーシは自然が好きで、たくさんの森や湖を楽しみます。

日本もベラルーシのように米澱粉のように豊富であるジャガイモベースの料理をたくさん食べます。

あなたがベラルーシを訪問したい場合、私はその一つを見るためのアドバイスをしましょう。



例えば、ミール城はユネスコによって指定されている世界遺産です。また、ベラルーシは、有名なアーティストのマークシャガールの祖国として、非常に誇りに思っています。

ベラルーシを訪問することは、静けさと自然のシンプルな美しさを楽しむ人のための良い選択です。



ミール城

## 「ミャンマーでの日本語ボランティア」

すいようご 水曜午後ボランティア  
なかのくに お 中野邦夫

ミャンマー北部のカチン州は民主化や経済発展がまだ実感しにくいところですが、州都ミッチーナにこの街で唯一の小さな日本語塾があります。キン先生は大学教授で、20年前に留学したときに覚えた日本語を後進にも伝えたいと塾を開き、以来一人で教えています。昨年偶然キン先生とお会いし、私も何かお手伝いしたいと話したところ快く受け入れてくれましたので、9月に行きました。

授業は朝8時からと夕方5時から各1時間で、夕方は土、日もあり、入門から中級までの35人が学んでいます。

私は先生の授業のなかでネイティブとして会話スキットの音読、発音練習、難しい言葉の説明などをし、授業の間には盆踊りやご

み回収などさまざまな日本の生活を撮ったビデオを見せて、日常生活の様子を知ってもらいました。

時には先生の発音の間違いを直すことも。今、世界中で数千人いる日本語教師の90%以上は現地の熱意ある人たちですが、発音や日本語表現に少しおかしいところがあってもそのまま伝えられているのが実情です。

学習者は日本語を熱心に勉強していますが、日本人と話したのは私が初めてでした。緊張して初めはたどたどしかった会話が、朝夕食事を共にしたり、近郊へ一緒に出かけたりしているうちに会話力がどんどん向上し、私が帰るころには冗談も通じるほど打ち解けました。



# 新ボラさん こんにちわ!

月曜午前ボランティア 岩城 恵

お別れのパーティで全員から初めて日本人と話した新鮮な感想が語られ、仏教徒の人は平伏して感謝の祈りをし、駅に見送りに来た人は発車間際に列車に乗り込み次の駅まで別れを惜しんでくれました。

僅か3週間の滞在でしたが、共に過ごしたことで彼らの日本への関心と日本語学習への意欲をさらに高める契機になったとすれば、たいへん嬉しいことです。



日本語塾の授業風景



学習者たちと中野さん(中央)

今年イギリスで「最も住みやすい町」に選ばれたウィンチェスター。私が学生時代を過ごした、石畳の美しい古都です。現地でいただいたたくさんの優しさを、今度は日本でリレーしようと、100カ国の研修生が暮らすJICA東京で働きました。逆に笑顔と元気を受け取ることの多い毎日でした。そして現在は、日本の学生に英語を話す楽しさを教えています。飛び立っていく生徒たちが、優しさのバトンを世界へ繋いでくれます。今回府中で、新しい出会いを大切に、またおもてなしの輪を広げていきたいです。

月曜午後ボランティア 川口 哲也



この秋から日本語学習支援のお手伝いをさせていただくことになりました浅間町在住の川口哲也と申します。

私は30数年、水産物の輸入・卸売に携わり現在に至っておりますが、この間に海外に出向くこと数知れず、特に南米はアルゼンチンに5年ほど駐在の経験もいたしました。この時、彼の地の方々から母国語のスペイン語の厚い手ほどきを受け、おかげで彼の地から帰国して15年を過ぎた今でも、上記の仕事にそのことが役立ち続けております。

さて、昨年私は会社の後輩に経営権を譲って、いわゆるセミリタイアの境遇になりましたところ、これまで多くの人たちから多大な支援を受けてきて、その恩に報いることが何かで、これから出来ないものかと考えるようになりました。そこで今年の春、府中市の広報で国際交流サロンの活動を知り、ここで上記のアルゼンチンでの経験をそのまま今度は逆の立場で活かすことが、考えていた恩返しにつながるものと確信し、このたびこちらに志願した次第でございます。

どうか、皆さまこのような心づもりでこれから活動をさせていただきますので、何卒よろしくお願いたします。

すい きんようご ご よる すえだけいじ  
水・金曜午後・夜ボランティア 末田圭治

9月から参加し、学習者が目標を達成できるように、教え方を工夫している日々です。初めて外国の方に日本語を教えたのは会社内での日本語の勉強会でした。その際、教えていて楽しいと同時に、教え方を身につけたいと感じました。それをきっかけに、大学の副専攻を修了し、府中の研修会を経て参加しています。趣味は、卓球(長期お休み中)や、スポーツ観戦(野球、バレーボール)等です。日本語教育は、始めたばかりです。少しでも多くの事を身に付けたいと思いますので宜しくお願いします。



きんようご ご とうへいようこ  
金曜午後ボランティア 藤平洋子

府中市の小学校に勤めていた時、国際交流サロンに通っている方をお招きして異文化体験の行事を行いました。その時、日本語を教えるこのボランティアに参加したいと思いました。その後、大学の教員として勤務し、この春、退職して、ボランティアに参加することができました。せいっぱい努力しようと思っています。20年間、積み重ねてくれた先輩の皆さんに学びながら私に出来ることをやっていきたいと思っています。私の趣味は藍染めと刺繍に古代史の史跡探訪です。どうぞよろしくお願ひします。



# 皆さんよろしく◇学習者紹介

ウ ユイハン ちゅうごく  
呉 宇航さん (中国)



## 「趣味はアニメを描くことです」

身長は184cmの長身ですが、少年の面影の残る呉さんは、都立農業高校の2年生。学校での部活はバスケットをやっています。背が高いのでバスケットには最適だと感じました。

2013年に中国遼寧省から両親のいる日本にきました。来てすぐに府中第2中学校に入学し、今は高校生になりました。

国際交流サロンには来日した翌月から来ています。今までに4人の先生に教えていただきましたが、どの先生もととてもやさしく、親切だと感じていることです。

日本の食べ物では、てんぷらやたこ焼きが好きで、生の魚は食べられるけれど、そんなに好きではありません。

将来は日本で中国料理のお店を開きたいとの夢があり、今も一日3時間中国料理のお店でアルバイトをしています。ご両親の働いている中国料理店とは別のお店ですが、学業と同時に将来の夢に向かって一歩踏み出しているのでしょうか。

「こんにちは」「かわいい」という日本語が好きなのですが、1年先輩にかわいい女子がいて、それで「かわいい」という言葉が気に入っているようです。(堤林)

## 「幻のきのもちょう」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

中学の級友だったHくんは、理科と作文が得意な秀才でした。一年の夏、校内のコンクールに入賞した彼の作文の題名は「きのもちょう」。「もんしろちょう」は知っているものの、「きのもちょう」という名は初めて。理科が得意なHくんのこと、蝶についての面白い観察を期待して読みましたが、読めども「飛ぶ」「舞う」など、蝶にまつわることばかりが見当たりません。内容も蝶とは無関係。読み返すと、どうやら蝶の話ではないことに気づきました。

理科が得意のHくん、という先入観で、題名の「きのもちょう」を「きのもちょう」と早合点していたのです。では、「きのもちょう」って何だろう？辞書をひいてやっと納得。「夏の暑さも、『気の持ちよう』で快適に過ごせる…」、Hくんの作文はそんな内容でした。

やはり、中学生の語彙力では理解が及ばなかった話をもうひとつ。水原弘、守屋浩と並んで「三ひろし」と呼ばれて人気を誇っていた井上ひろしがその甘いマスクと声で唄う『雨に咲く花』は、少年の心に妙に切なく迫ってきました。「およばぬこととあきらめました だけど恋しい あの人の…」で始まる歌詞につづく一節は、

「…ママになるなら いまいちど ひと目だけでも逢いたい…」。

かなわぬ恋に身を焦がす女の心情をすべては理解できないものの、ませた少年の心を充分刺激し、頭の中ではこんな物語を組み立てていました。

「あなたの子を宿してもうすぐママになるというのに、あなたとは一緒になれない…ああ悲しい…」

しばらくして、「ママになるなら…」は、「儘になるなら…」ということを知りました。そうか、「自分の想いどおりになるなら」が「ままになるなら」だったのか…。少年の語彙をひとつ豊かにしてくれた『雨に咲く花』—この曲を耳にすると、ませガキだった頃の自分を思い出すのです。

## 『「サロンの集い 2016」のご案内』

待ちに待った「サロンの集い」が今年も開催されることになりました。毎年評判の、学習者とボランティアが一緒に手作りをする世界の国々の料理も、今年も11ヶ国の料理を予定しています。美味しい料理とお話を楽しんだあとはアトラクション・タイムです。中国琵琶やバイオリンの演奏、民族舞踊、バンド演奏、民謡踊り、フォークダンス等々、盛りだくさんの企画を用意しています。ぜひ一緒に参加してください！

「サロンの集い」は、学習者とボランティアの方々皆さんの協力で成り立っています。当日は、会場設営、終了後の片付け、料理の準備と調理等々、いろいろな役割がありますので、ご都合のつく方は是非、お手伝いをお願いいたします。お手伝いは、月曜から金曜の日本語学習会で募集受付していますので、そちらへお申し込み下さい。（企画部）



### 「サロンの集い 2016」の詳細は下記の通りです。

日時: 11月26日(土)

開場: 午後4時30分

開宴: 午後5時30分～8時

会場: ルミエール府中・コンベンションホール飛鳥

会費: 大人1,000円(中学生以上) 小学生500円

\* 乳幼児は無料

募集定員: 200名

応募締め切り: 11月11日(金)

申し込み方法: 申込用紙に必要事項を記入の上、サロン事務局に提出してください。

# この「ことば」知っていますか



(生活情報コーナー)

毎日の生活には、いろいろな日本語があふれています。知らない「ことば」に出会ったらどうしよう？

ちょっとメモして、ボランティアの先生に聞いて、いっしょに勉強するのもいいですね！

このコーナーでは、学習者の皆さんの生活に役立つ「ことば」を紹介していきます。

## ★生活に役立つ「ことば」★

### ボランティアさんと学習してみませんか！

こんな言葉を知っていると便利！

今回は、病院でみかける「ことば」を紹介します。

- ①内科
- ②小児科
- ③外科
- ④産科
- ⑤婦人科
- ⑥眼科
- ⑦歯科
- ⑧整形外科
- ⑨耳鼻咽喉科
- ⑩形成外科
- ⑪皮膚科

他にもいろいろありますね。探してみてください。



## へんしゅうこうき ～編集後記～

爽やかな季節になりました。「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」「スポーツの秋」です。

サロンでも、様々なイベントが催されています。本誌「くろすろ一ど」では、新しいボランティアさんたちの紹介が始まりました。

11月26日には、一大イベント「サロンの集い」が行われます。学習者とボランティアとの素晴らしい交流の場となることでしょう。

ぜひ、ご参加くださいね。

(高柳)

えてがみ  
絵手紙



チョウ リリ(中国)

【編集】 会報部会 / 安島 坂倉、篠塚、進藤、高柳、堤林、増田、和田

【事務局】 電話：042-352-4178

E-mail : [salon@fuchukokusai.gr.jp](mailto:salon@fuchukokusai.gr.jp)

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>

\*毎月第3水曜日には「勉強会」も行われています。学習教材の情報や教授法など、さまざまな研修に取り組んでいます。気軽にご参加ください。

えてがみ  
絵手紙



おおはし  
大橋 ポンチャン(ラオス)